

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-121865

(43)公開日 平成6年(1994)5月6日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 3 D 15/00	C	8703-2C		
A 6 3 B 67/00	C			

審査請求 未請求 請求項の数6(全 4 頁)

(21)出願番号 特願平4-313916

(22)出願日 平成4年(1992)10月12日

(71)出願人 591111031

藪野 貞夫

福井県福井市日之出3-9-3

(72)発明者 藪野 貞夫

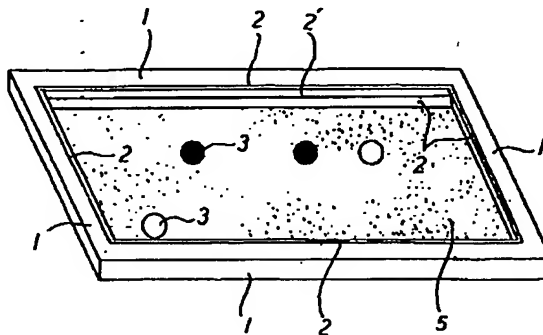
福井県福井市日之出3丁目9-3

(54)【発明の名称】 球技セット

(57)【要約】 (修正有)

【目的】ゴルフやゲートボールのような雨雪の天候ではできない競技でなく、天候に関係なく屋外、室内、ビル屋上、家庭、職場、老幼男女が、過度に激しくなく楽しめるスポーツ競技で、高度な競技の技術を堪能できる球技セットを提供する。

【構成】囲い枠1と紅白2色のボール3を2個づつと、ゴルフ用クラブ、アイアンや、ゲートボール用のステックや独自の叩き器具とで構成し、ボール3とボール3を当てて勝負するもので、ゴルフのように立った姿勢でボールを叩きビリヤード等のルール等で勝負する球技でビリヤード、ゴルフ、ゲートボールの3競技をミックスした球技セット。



【特許請求の範囲】

【請求項1】四角形、又は長方形の囲い枠1を、直接、平坦な床面4又は地表4に設置固定したり、又は組立可能にしたり、又は折り畳み可能にした、囲い枠1内に紅白2種の色で、適当大きさのボール3を、1色に2個計4個を囲い枠1の中に入れて競技する、紅白以外の色でもよく、ボール3の数を増やしてもよい、ゴルフ用のクラブ7やアイアン7や、又はゲートボール用のステック7か、又は独自の叩き体7'で、ゴルフのように、人が立ったままの姿勢で、長柄8の叩く器具7で、足元のボール3を、叩き転がして競技をする、ルールは、ビリヤードのルールを用いたり、又は独自のルールを用いて競技することを特徴とする球技セット。

【請求項2】囲い枠1の内面に弾性体2を固定し、ボール3の球体の中心点3'より若干上部に弾性体2の突起部分2'を設け、囲い枠1の外への飛び出しを防止する。該突起部分2'の下弾性体2断面は、ボール3の半径より若干大きい曲線の曲面6にして、衝突時の接触部分を多くし、ボール3が弾性体2に衝突した時にブレーキがかかることなく、受けて、弾き返し、反射スピードが減衰しないようにして競技を面白くすることを特徴とする請求項1記載の球技セット。

【請求項3】囲い枠1の囲いの中床面4、又は地表4に、芝5、人工芝5、又は絨毯5、又は布5、又はゴム板5、又はマット5、又はボード5を敷きボール3が円滑に走り更に走る音を減少させることを特徴とする請求項1、2記載の球技セット。

【請求項4】ボール3を叩く器具7として、ゴルフ用のクラブ7、アイアン7や、ゲートボール用のステック7、又は独自の叩き体7'の長柄8の適当位置に、長柄8と十文字に交差して照準器9を固定し、ボール3を狙い打ちする、右打ち、又は左打ち可能に取り付けたり、又は取り外したりして競技することを特徴とする請求項1、2、3記載の球技セット。

【請求項5】ビリヤードのキューでの球突きより、ボール3を叩く方が走るボール3の速度と距離が出るので、囲い枠1内の競技面積をビリヤードより、広く大きくできることが可能であることを特徴とする請求項1、2、3、4記載の球技セット。

【請求項6】先端をビリヤードに用いるキューのように細くした叩き部13を有する、独自の叩き体7'を長柄8の先端に取り付け、照準器9と同じ狙い方向で照準器9と平行して固定し、叩き部13を右打ち、又は左打ち可能にするため叩き部13を独自の叩き体7'の片方1ヶ所、又は両端2ヶ所に配して、ボール3を叩く位置がボール中心点3'より左右、又は上下や斜め等、適当に変更することによりボール3が走る方向や、回転が変わる、又ボール3が弾性体2や相手ボール3に衝突後に走る方向や回転が千差万別になり、種々変化することを予測して競技することを特徴とする請求項1、2、3、

4、5、記載の球技セット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】露天広場4、又は室内4、又はビル屋上4等で遊ぶ球技に関する。

【0002】

【従来の技術】従来は、ゴルフはゴルフだけの競技であり、ビリヤードは、ビリヤードだけの競技として普及し、ゲートボールはゲートボールだけとして普及してきた、この三球技をミックスし囲い枠1内に入り競技する、球技セットの提供はなかった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ゴルフの面白さと、ビリヤードの面白さと、ゲートボールの面白さをミックスして、家庭、職場、広場、屋外、室内、晴天、雨天、老幼、男女を問わず簡単な設備と、狭い室内でも楽しめる競技で、ビリヤードのようなルールで皆が知っていて、すぐに覚えられる軽い運動競技を提供したい、特に楽しみ少なく、荒天や雨天になると競技ができないし、過激な運動もできない、老人男女や、職場の休憩時間にゴルフ用のクラブ7、アイアンや、ゲートボール用のステックや、その他の、独自の叩き体7'で楽しい屋外、室内競技が出来る、球技を提供したい。

【0004】

【課題を解決するための手段】平坦な室内床面4、又は露天地表4に囲い枠1を設置し、適当大きさの紅白等2色のボール3を2個づつ計4個を囲い枠1内に入れ、ビリヤードのルールで勝負し、ビリヤードのキューの代りとして、ゴルフ用のクラブ7やアイアン7又はゲートボール用のステック7や独自の叩き体7'でボール3を叩き転がす、スポーツ競技である、ボール3の色は任意に決めたり、球数もルールも自由に決めてもよい。

【0005】

【作用】ルールは、前述の如くビリヤードのルールを普通は用いるが、他のルールを用いてもよい、ビリヤード用のキューの代りにゴルフ用のクラブ7アイアン7やゲートボール用のステック7を用いたり、又は独自の叩き体7'を採用してもよい、照準器9は熟練度が高くなれば取り外しても良く、そのまま使用しても良い、囲い枠1は平坦な露天の地表4や室内に常設してもよく、又は、組立式、折畳式にして運搬収納が容易にしてもよい。

【0006】

【実施例】以下、図面に示す1実施例についてさらに詳細に説明する。

【0007】図1は、囲い枠1とボール3の斜視図を示し、図2、図3は、囲い枠1の断面図を示す、ボール3は、通常は紅白の各2個、計4個のボール3を使用するが、他の色でもよく、ルールを変えてボール3数を増加してもよい、ボール3とボール3が衝突した時に、快音

3

を発するボール3が勝負を楽しくする、ボール3は合成樹脂製、人工象牙製、木製、又はその他の材質でもよいが簡単に傷がつかないことと快音を発する方がよい。

【0008】囲い枠1は、木材でもよく、角形鋼管やC形鋼やミゾ形鋼を用いてもよく、鉄板折曲製でもよく、固定式、組立式、折畳式等いずれでもよい。弾性体2は、ゴム2又は布2又はコルク2又は合成樹脂2を用い、ボール3が囲い枠1に衝突して、囲い枠1の外に飛び出すことを防止するため、囲い枠1の内面の四周に弾性体2を固定し、該弾性体2に突起部分2'を、ボール中心点3'より若干高く設ける、該突起部分3'の下を図2の如く、下広りの角度6'を付けた時は、衝突時に接触する弾性体2と床面4にボール3が楔的に食込み、ブレーキがかかり反射スピードが減衰するので競技の面白味を減少する。図3の如く突起部分2'から下をボール3の球面の半径より若干大きい曲線の曲面6を付ければ、ボール3にブレーキがかからず、受け、弾き、反射スピードが減衰することなく、ボール3が円滑に早く走り回り、競技を面白くする。

【0009】囲い枠1を床面4地表4に配置し、枠内の床面4、地表4に、芝5、人工芝、絨毯5、布5、ゴム板5、マット5、ボード5、等を敷きボール3を円滑に走らせ、更に走る音を減少して、ボール3と相手ボール3が衝突する時に発する快音が目立つようにして競技を快適なものにする。

【0010】ゴルフ用のクラブ7、アイアン7やゲートボール用のステック7を兼用するのでなく、図5の独自の叩き体7'を用いる方法で、ビリヤードの玉を突くキューのように叩く先端が細く突出させた叩き部13を有することを特徴としたもので、独自の叩き体7'の両端に叩き部13を配してもよい、ボール3の中心点3'の左右上下や斜めの適当位置を叩く、叩く位置が微妙に変わればボール3の走りが千変万化の変化をするのを予想して球技を競う方法である。

【0011】

【発明の効果】ゴルフの最中に雨雪荒天のため中止になっても、室内でこの叩く球技を楽しめるし、クラブやアイアン操作の稽古にもなる。ゴルフ場近くのホテルに、この設備があれば前夜練習が出来るし、当日荒天で競技が出来ない時は、この室内競技が出来る。ビリヤードのような重く高価な台も不用だし、競技場造りは囲い枠1だけの設置で簡単である、数少ない老人向きの室内競技

4

として、ゲートボール用のステックでも競技が出来るし、職場の休憩時間に向く余り過激でない運動だし、家庭、職場、屋外、室内、ビルの屋上、土間、雨天運動場等の平坦な床面4や地表4やコンクリート面4の上で、囲い枠1を組み立てすぐに競技が出来る、近頃流行のリゾートホテルや、街のサウナ風呂等の屋上や室内に設備すれば、軽い競技をした後の風呂は格別の娯楽になる。囲い枠1は固定常設してもよく、ルールは永年にわたって大衆が知悉しているビリヤードのルールを用いてもよく、又新たなルールをつくってもよい、ルールがビリヤードの場合は既によく知悉されているから娯楽、スポーツ、球技として、急速に大衆に解け込み、広く普及する競技であると思います。

【図面の簡単な説明】

【図1】 囲い枠とボールと人工芝等の斜視図

【図2】 ボールが下広り角度付弾性体に衝突した場合ブレーキがかかり反射スピードが減衰する場合の説明図

【図3】 ボールが衝突時に接触する弾性体の面がボール球面よりやや大きい曲面を有するため反射スピードが減衰しないことの説明図

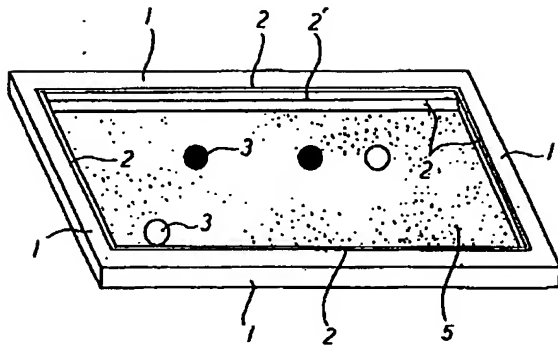
【図4】 叩く器具の長柄に十文字形に照準器を取り付けた状態の説明図

【図5】 独自の叩き体の斜視図

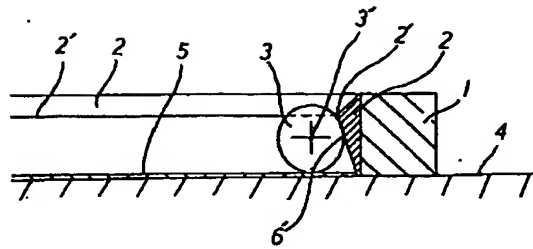
【符号の説明】

- | | |
|----|------------------------|
| 1 | 囲い枠 |
| 2 | 弾性体 |
| 2' | 突起部分 |
| 3 | ボール又は球 |
| 3' | ボール中心点 |
| 4 | 床面又は地表又は露天広場 |
| 5 | 芝、人工芝、絨毯、布、ゴム板、マット、ボード |
| 6 | 曲面 |
| 6' | 下広りの角度 |
| 7 | 叩く器具 |
| 7' | 独自の叩き体 |
| 8 | 長柄 |
| 9 | 照準器 |
| 10 | 眼球 |
| 11 | 照星 |
| 12 | 照門 |
| 13 | 叩き部 |

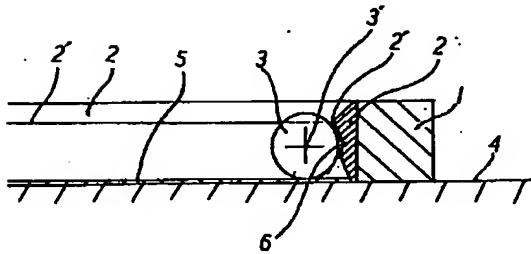
【図1】



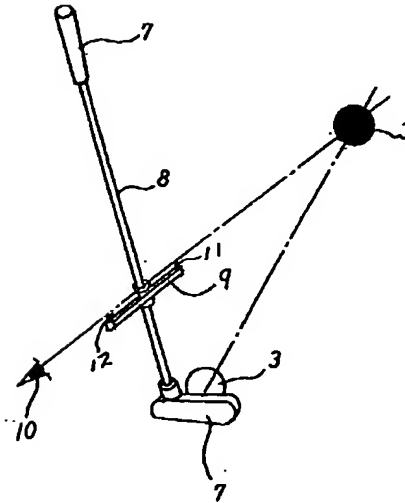
【図2】



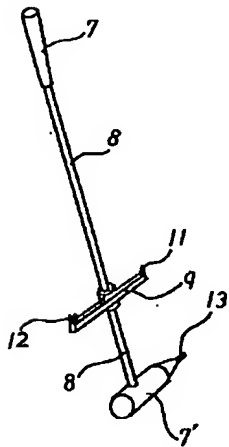
【図3】



【図4】



【図5】



PAT-NO: JP406121865A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 06121865 A

TITLE: BALL GAME SET

PUBN-DATE: May 6, 1994

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

YABUNO, SADAO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

YABUNO SADAO

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP04313916

APPL-DATE: October 12, 1992

INT-CL (IPC): A63D015/00, A63B067/00

US-CL-CURRENT: 473/1

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide a ball game set for a sport which one can enjoy in a rainy or snowy day, different from golf or gate ball and old and young people, men and women can enjoy not as an excessively hard sport but a

highly athletic
technique regardless of weather in the outdoor or indoor area, on a
rooftop of
a building, or at home or in an office.

CONSTITUTION: Necessary instruments are a surrounding frame
1, two sets of
red and white balls 3, a golf club and a golf iron, a stick for gate ball,
and
a unique striking tool. In this game, players hit a ball 3 to another ball
3
in standing posture like golf by the rules of billiard or the like. This is a
mixed sport of billiard, golf, and gate ball.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio